

特色ある英語教育

英語を「第二の母語」と定義して、小1から学習します

今日の急速なグローバル化の進展により、日本人にとっても英語は不可欠な言語になりつつあります。日本の企業も英語のネイティブスピーカーの雇用は勿論のこと、英語でコミュニケーションができる日本人の雇用が益々増加して参りました。今後も「英語ができる、使える」ということが、児童、生徒の将来を切り開く上で重要なキーとなることは言うまでもありません。

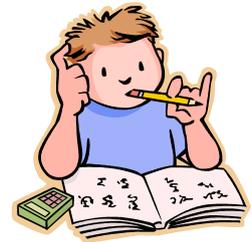
以上のような状況を鑑み、小学校の教育課程に2011年4月から、5・6年生で英語（外国語）の授業が必修化されました。江戸川学園取手小学校では私立の独自性を活かし1年次より英語の授業を導入して、子供が母語を自然に身に付けていくように英語を「第二の母語」と定義して、英語の指導に力を入れて参ります。

(1) 指導方針：「英語のあそびからまなびへ」

- ・楽しく英語力を身に付けさせる

(2) 到達目標：コミュニケーションな英語力の習得

- ・6年次までに全員英検3級の合格を目標とする



(3) 段階的指導法：ネイティブと日本人教員のチームティ칭グ

1st STAGE 1年次・2年次：「英語で遊ぼう」

- ・音声を中心に身近なこと、ものが英語で表現ができる
具体例：日常生活における身の回りの基本的語彙力（色、果物、食べ物、動物、数字、時刻、曜日、月、など）の構築と発音と発話

2nd STAGE 3年次・4年次：「英語の表現力を身に付けよう」

- ・基本的で応用の利く表現で身近なことが英語で表現できる
具体例：挨拶、自己紹介、買い物などの身近な活動を相手に伝えることができる言語運用能力の構築

3rd STAGE 5年次・6年次：「英語で自己発信をしよう」

- ・子供の発達段階を踏まえた話題・題材で自分の考えが英語で発表できる
具体例：学校生活、学校行事、日常生活、身の回りの出来事などについて自分の意見などを相手に伝えることができる言語運用能力の構築

(4) 発展的学習

- ①児童英検、英検の受験（6年次で全員英検3級の合格を目標）
- ②オーストラリアの小学校での海外研修（5年生・6年生を対象に夏休みに実施）
- ③オーストラリアからの留学生との交流会
- ④週に1回「English Time」を設け、実践的活動を促す（ネイティブとの触れ合い）
- ⑤校内英語放送（English Shower）によりリスニング力の向上を図る
- ⑥本校中等部英語へのスムーズな連携と移行